

一般質問

町民の声を代表して 10人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。
今回の議会では、10人の議員が、皆さんの声を代表して熱弁を振るいました。

原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問



美谷 芳昭

問 町道の維持管理について直結した生活道路でもあり、重要な役割を担っている。

答 管理については、集落内道路は地域で管理しているが限界もあり、基本的には町が管理すべきである。

問 近年、整備予算や従事職員の減少により、住民から整備不良の苦情や、良好な管理の要望があるが、今後の整備方針は。

答 町道の損傷箇所情報は、区長からの通報や、職員のパトロールで見出し、応急処置や工事発注して早急な対応に努めている。

問 地元区からの改修要望を踏まえ、舗装、部分拡幅側溝整備などの危険箇所対策も行っては。

答 今後は、予算の範囲内で、安全な通行の確保、維持に向け引き続き推進を図りたい。

問 以前は町道管理に専用職員など配置していたが、行革で減員された。今後、土木職の職員や嘱託職員を採用し、町道管理と町全体の工事の施工監理の業務に従事させてはどうか。若しくは経常的に

一、町道の維持管理について 二、有害鳥獣対策について

問 町道管理を外部委託すればどうか。

答 現在、正規職員の配置はしていないが嘱託職員が従事している。今後は職員配置について順次見直しを考えた。

問 管理委託について全面委託はしていないが、除草等は業者発注で行っている。

答 この際、軽ダンプトラックを配備して、黄色の塗装、パトライトの設置ボデーには、町道維持巡回作業車と表示して、毎日巡回し、不良箇所があれば直ぐに修繕し、危険箇所の発見、不法投棄物の回収等を行って、住民に喜ばれるきめ細やかな対応をすればどうか。

問 今後、出来る限りパトロールに努め、維持管理をしたい。また、町道維持巡回作業車導入の提案はしっかり受け止めて前向きに検討してまいりたい。

有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣(猪、鹿、アライグマ、ヌートリア)の捕獲頭数はここ4年で4倍に増加している。早急なる対策が必要である。そこで

・ 買い上げ制度を創設してはどうか

・ 電気柵の補助金の引き上げをしてはどうか

・ 町の組織に有害鳥獣専門の部署を新設してはどうか

・ 捕獲鳥獣の焼却処分として、新しい火葬場を整備してはどうか

以上の見解は。

答 ・ 買上制度については、現行の報奨金制度(猟友会)が妥当と考える。
・ 補助金は受益者に半分負担していただきたい。
・ 部署の新設は、担当や係で協力し合って頑張っている。
・ 新火葬場は現在のところ、人と愛玩動物しか考えていない。

問 昨年度は、猪と鹿が315頭捕獲されており、肉の有効活用が必要だ。そこで、本年施行された6次産業化法に、猪、鹿肉処理加工施設の整備の補助があるが、これを活用して、加工販売すればどうか。

答 制度は承知している。他に対策協議会の補助もあるが、問題は採算性でありこれらも含め、幅広く検討したい。